

緊急地震速報

緊急地震速報とは、気象庁が地震直後の小さな揺れをとらえて大きな揺れの前に震度や震源などを予測して情報を発表するものです。気象庁は、最大震度5弱以上の強い揺れが予測された場合に、震度4以上が予測される地域を広く一般に発表します。テレビとラジオのすべての放送波で速報します。

緊急地震速報(気象庁) → <http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/>

NTT災害用伝言ダイヤル171

災害発生時は、安否確認や問い合わせなどで電話回線がたいへん混雑します。このような場合は災害用伝言ダイヤルをご利用ください。家族と安否をとりあう場合には30秒程度録音できて便利です。

災害用伝言ダイヤルは、毎月1日に体験利用できます。災害発生に備えて、利用方法を事前に覚えておきましょう。なお、携帯電話番号に対しての伝言の録音・再生は行えません。

171+ 伝言の録音 1

被災地の電話番号を市街番号からダイヤルしてください

(076)-XXXX-XXXX

☎ 回転ダイヤル式

☎ プッシュボタン式 1#

9# 録音
(30秒以内でお話ください)

9# 再生

耐震診断・耐震改修の支援制度について

県では、耐震診断・改修の支援要件を緩和するとともに関係団体と連携し耐震化の促進を図り、県民の「安全・安心な住まいの確保」に努めます。

木造住宅「耐震診断」・「耐震改修」支援制度

◆ 支援対象となる住宅

耐震診断・耐震改修とも以下の住宅が対象です。
(1)木造一戸建て、平屋建て又は2階建てのもの
(2)昭和56年5月31日以前に着工して建てられたもの

◆ 耐震診断支援の内容

申請者負担：2千円～6千円で、耐震診断を行います。
(一般的には、約5万～10万円かかると云われています。)
住宅の大きさ、建設当時の図面の有無により以下の負担額です

申請される方の負担額		
住宅の大きさ	図面がある場合	図面がない場合
延床面積28.0㎡以下	2千円	4千円
延床面積28.0㎡を超える	3千円	6千円

申し込み先：(社)富山県建築士事務所協会
住所：富山市安住町7-1 電話：076-442-1135

◆ 耐震改修支援の内容

耐震診断結果の評点1.0未満の住宅を1.0以上に耐震化に要する経費について補助します。
補助金額：経費の2/3を補助(但し、補助金の限度額は60万円です。)

総合評価表(診断結果)	
評点	判定
1.5以上	倒壊しない
1.0～1.5未満	一応倒壊しない
0.7～1.0未満	倒壊する可能性がある
0.7未満	倒壊する可能性が高い

申し込み先：生活環境課
電話：076-464-1121(内線22)

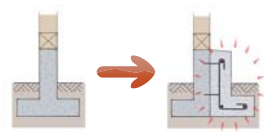
耐震化への取り組み

地震発生の阻止や予想は困難ですが、地震による被害を軽減することは可能です。住宅や建築物を倒壊しないようにすること、すなわち耐震化を図ることが、多くの命や財産を守るために有効かつ効果的な方法です。

このような改修で耐震性を向上させましょう

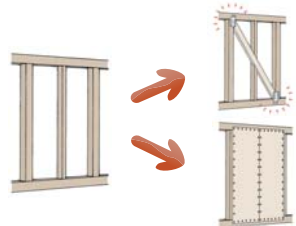
基礎の補強

無筋のコンクリート基礎に鉄筋入りの基礎を増設し基礎を補強するなどの工法があります。



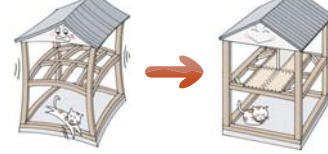
部材の接合、耐力壁の設置

壁、柱、梁などの接合部に、筋かいや構造用合板が入った耐力壁を建物全体にバランスよく配置することによって、地震力に抵抗させることができます。



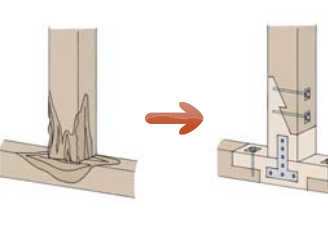
床の補強

地震の力に抵抗する耐力壁をうまく機能させるためには、耐力壁どうしをつなぐ床面などを補強することも重要となります。



部材の交換

腐朽した柱、土台などの構造上重要な部材を新しい部材に交換し健全な状態に戻すことが必要です。



舟橋村

地震防災マップ

保存版

地震防災マップの使い方

このマップは舟橋村周辺で発生が想定される地震についての「揺れやすさマップ」を示したものです。このマップを参考に自分の住んでいる地域の震度を確認し、日頃から地震に対する備えを心がけましょう。

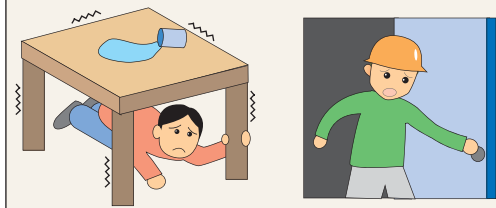
ただし、設定した震度及びマグニチュードは想定される地震の中の1事例であり、これより大きな被害をもたらす地震が起こる可能性もあります。いざというときのために家族で集まる避難施設や連絡方法などを日頃から話し合い、防災訓練に参加しましょう。



地震時のあなたを守る次の行動

1. まず落ち着いて身の安全を確保する

揺れを感じたら、まず丈夫な机やテーブルなどの下に身を隠しましょう。玄関などの扉を開けて非常脱出口を確保し、あわてて外へ飛び出すことなく落ち着いて行動しましょう。



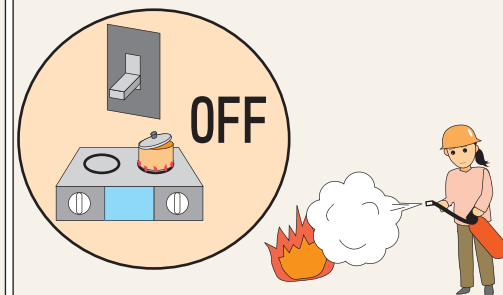
4. 協力しあって救出活動を

建物の倒壊や落下物などの下敷きになった人がいたら、地域みんなが協力しあって救出活動を行いましょう。



2. あわてず冷静に火災を防ぐ

使用中のガス器具、ストーブなどは、すばやく火を消しましょう。ガス器具は元栓を締め、ブレーカーを切りましょう。電気器具はコンセントを抜きましょう。初期消火に努めましょう。



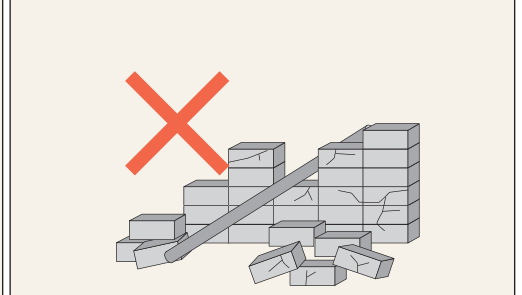
5. 避難のテクニック

避難するときは、必ず徒歩で避難しましょう。服装は、活動しやすいものにしましょう。携帯品は、必要品のみにして、背負うようにしましょう。



3. 狭い路地、塀ぎわ、崖や川べりに近寄らない

狭い路地や塀ぎわは、瓦などが落ちてきたり、ブロック塀やコンクリート塀が倒れてきたりするので離れましょう。崖や川べりは地盤のゆるみで崩れやすくなっている場合があるので離れましょう。



6. 正しい情報の入手を

テレビ、ラジオの報道に注意してデマにまどわされないようにしましょう。市町村役場、消防署、警察署などからの情報には、たえず注意しましょう。



お問い合わせ

舟橋村役場



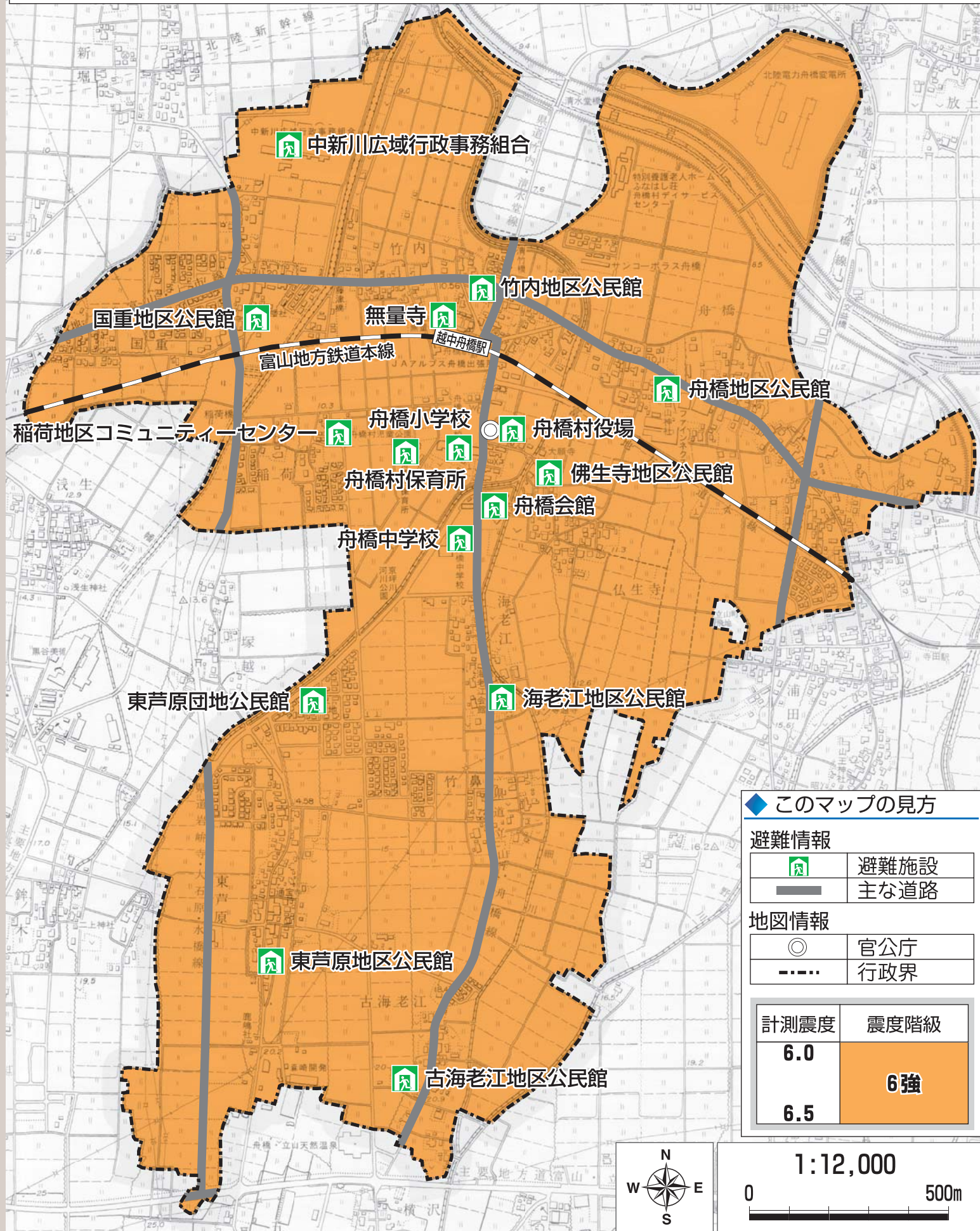
〒930-0295 富山県中新川郡舟橋村仏生寺55

TEL：076-464-1121(代) FAX：076-464-1066

舟橋村ホームページ <http://www.vill.funahashi.toyama.jp/>

揺れやすさマップ

揺れやすさマップは、舟橋村に影響のある『起震断層による地震』及び『いつどこで発生するかわからない直下型地震』について、各々解析し、最大の震度(揺れの大きさ)を重ね合わせたものを表しています。いざという時に備え、あなたの家から避難施設までの避難経路や家族の連絡先などを書き込んでおきましょう。



◆このマップの見方

避難情報	
	避難施設
	主な道路
地図情報	
	官公庁
	行政界
計測震度	震度階級
6.0	6強
6.5	

地震の規模を表すマグニチュード、揺れを表す震度

マグニチュードとは

地震の規模の大きさを表すのがマグニチュードで、「M」で表します。一般にM7以上の地震を大地震、M8以上の地震を巨大地震と呼びます。

揺れを表す震度とは

地震が発生した時、ある場所での揺れの程度を表すのが震度です。従来は震度0~7までの8階級でしたが、平成8年10月から震度5,6をそれぞれ強、弱に分け10階級に改正されました。同時に「微震」、「弱震」、「烈震」などの呼び名を廃止しました。

計測震度	震度階級	状況	
5.5	5強	大半の人が、物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。 耐震性の低い住宅では、壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。	
	6弱	立っていることが困難となる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 耐震性の低い住宅では、壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。	
6.5	6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできない。 耐震性の低い住宅では、壁などに大きなひび割れ・亀裂が入り、傾くものや、倒れるものが増える。	
	7	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。 耐震性の低い住宅では、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。	

避難施設

避難施設名	電話番号
舟橋村役場	464-1121
舟橋会館	464-1126
舟橋小学校	464-1424
舟橋中学校	464-1425
舟橋村保育所	464-1114
中新川広域行政事務組合	464-1335
舟橋地区公民館	464-1441
佛生寺地区公民館	462-3901
海老江地区公民館	-
古海老江地区公民館	-
東芦原地区公民館	-
東芦原団地公民館	-
稲荷地区コミュニティーセンター	-
国重地区公民館	463-2335
竹内地区公民館	-
無量寺	464-1305

※状況によっては避難施設として開設されない場合があります。

避難時の非常持出品の準備

避難施設での生活に最低限必要な準備をし、また負傷したときに応急手当ができるように準備しておきましょう。非常持出袋などは、いつでも持ち出せる場所に備えておきましょう。

非常持出品の例



その他必要に応じて準備しておきましょう

ちり紙、ミルク、ほ乳瓶、紙おむつ、毛布、ヘルメット、携帯ナイフ、ドライシャンプー、軍手、携帯袋、石けん、使い捨て食器、携帯食、レジャーシート、携帯電話の充電器 など

避難持出用 防災メモ

家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校などの電話番号	わが家の避難施設
				家族の集合場所
				避難時の緊急連絡先
				持出品の置き場所